

はなおか栄太郎 市政報告

Vol.2 令和4年 秋・冬号



令和4年9月定例議会 個人質問(抜粋)

9月12日に個人質問を致しましたのでその一部をご報告いたします。



平井排水センター

◎内水氾濫対策について

Q 祇園用水は中区を北から南へと縦断し、旭東排水機場がある四番川遊水地に流れ込みますが、大雨時の内水排除には、その途中にある平井排水センターが重要となります。この排水センターの役割は。

A 平井排水センターは、一級河川倉安川の排水に加え、降雨時には祇園用水の排水も行っています。祇園用水からの雨水の取り込みは、排水センターへ直接取り込む樋門が1ヶ所と、岡山玉野線に埋設されている雨水管(旭東1号幹線)に設けた、網浜交差点付近の網浜樋門および、岡山東商業高校付近の東高前樋門の2ヶ所の、計3ヶ所から取り込んでいます。このように、平井排水センターは、広範囲の雨水を排除する機能を有しており、中区の浸水対策における重要な役割を担っています。

Q 平成30年7月豪雨では、岡山市でも断続的に非常に激しい雨が降り、国富排水区に指定されている中区国富地区でも内水氾濫が発生しました。当地区の内水氾濫を防止する対策は。

A 祇園用水は、国富や平井、江崎など、中区を縦断して流れる用排水路で、地域全体の浸水被害防止のためには、この水路に流れ込む雨水を円滑に排除し、すみやかに水路の水位を低下させることが重要となります。現在、祇園用水から雨水管への取り込み量の増大を目的とし、東高前樋門の断面を拡幅する工事を行っており、これにより祇園用水の水位を低下させることで、上流の国富付近のみならず、下流域においても浸水被害軽減の効果が期待されます。また、水防活動における、迅速な初動対応を図るため、取水ゲートの遠隔操作化を進めており、網浜樋門は令和3年度に完了、東高前樋門は今年度から工事に着手する予定です。今後とも、関係部局と連携しながら、用排水路の事前水位調整を引き続き

行うなど、総合的な浸水対策に取り組んでいきます。

Q 平井排水センターの排水による祇園用水の水位の低下は、下流域にある旭東排水機場にも何か影響は。

A 岡山東商前の東高前樋門、こちらの祇園用水からの雨水管に取り込む工事を行っている先ほどご答弁さしあげましたけれども、そうすることにより下流に流れる用排水路の流量が非常に減少する見込みでございます。そうしますと、最下流の旭東排水機場に流れ込む水の量も当然減りますので、やはり旭東排水機場の負荷軽減に寄与するものと考えております。



施工中の東高前樋門の断面を拡幅する工事



◎ひとり親世帯の支援拡充について

Q 養育費の取り決めに関する公正証書等の作成に係わる費用のうち、補助金の申請者が負担した補助対象経費の全額が43,000円を上限に支払われますが、この上限金額の設定根拠と今までの上限額を超えた申請件数は。

A 補助の上限額につきましては、公正証書作成手数料を参考に設定しています。

「平成28年全国ひとり親世帯等調査」によると、養育費の平均額は1世帯月額43,707円で、その公正証書作成の手数料は約23,000円ですが、養育費総額は、子どもの人数、年齢等により大きく異なりますので、公正証書の作成手数料を全額補助できるように、1億円までの公正証書作成の基本手数料43,000円を上限としたものです。

これまでに、上限額を越えた申請は3件ありましたが、そのケースは養育費だけではなく、財産分与などの取り決めも併せて公正証書に記載されていたものであり、養育費のみの金額については、補助の上限額を超えた例はございません。

Q 養育費の支払いが滞った際に、保証会社から養育費相当が支払われる養育費保障の契約経費補助などを行う自治体もあるとお聞きしています。他の政令市での取組状況とともに、本市での制度拡充は。

A 養育費保証契約経費の補助につきましては、政令市では、令和4年8月現在15市が実施しています。岡山市としては、保証契約を結ぶには、公正証書等による債務名義が必要となることから、



まずは公正証書等の作成支援から開始しております。

養育費に関する実態としては、令和4年1月に、おかやま親子応援メールで、ひとり親家庭対象に実施したアンケートで、回答者287人のうち、養育費の取り決めをしており養育費を受け取っている人が29%である一方、取り決めをしているが養育費を受け取っていない人が22%を占めていました。その理由として、債務名義を取得しても、強制執行するのはハードルが高いや、相手との接点を持ちたくないという意見があがっています。今後こうした点も踏まえ、保証契約経費の補助制度についても、検討してまいりたいと考えております。

◎避難所におけるペットの対応について

Q 災害時には、ペットをつれての避難者が避難所に避難してくる可能性があります。ペットを家族と同じように大切にすることが増える中、万一の場合ペットと安全に避難できるよう平常時の準備が必要だと思えます。避難所に避難するための注意点や避難所の利用の仕方などをあらかじめハンドブックを作成するなどして周知しておく必要は。

A 令和2年3月に「岡山市動物の愛護及び管理に関する条例」が改正され、同年6月の施行にあわせ、岡山市ではペット避難の運用を開始、防災訓練に取り入れるとともに避難方法や注意事項について、防災マニュアルやホームページへの掲載、イベントでのパンフレット、チラシなどの配布を行っているところですが、さらなる周知方法についても検討してまいりたいと考えております。

令和4年6月定例議会 個人質問(抜粋)

6月16日に個人質問を致しましたのでその一部をご報告いたします。

◎放課後児童クラブにおける看護師を活用した取り組みについて

Q クラブでの発達障がい児への対応について、現

状について。

A 発達障がいのある児童については、専門研修を受けた支援員等が加配できる国庫補助事業を活用しながら、クラブでの受け入れを推進しております。児童の受け入れ後は、保護者から提供いただいた情報やクラブでの様子等を踏まえ、個々の児童の状況に応じた支援を行っているところです。

◎クラブ活動中に児童が負傷した場合等、応急処置を必要とする児童への対応について

A 支援員等が児童の状態等を確認し、ケガが軽度の場合は止血や消毒等の応急処置を行うとともに、保護者に連絡し発生の状況や児童の様子について説明をしております。また、ケガの程度や児童の状態によっては、保護者への連絡と並行して、医療機関等への急行や救急車を要請する場合もあります。

Q さらなる環境づくりとして、負傷した児童への対応や病院への随行のみならず、障がいのある児童に対するサポート、また、支援員等からの相談への対応や助言などを行う看護師をクラブに配置について。

A 看護師の配置については、財源や人員の確保等、様々な課題があるものと認識しており、本市の放課後児童健全育成事業全体の中で、今後の検討課題とさせていただきたいと考えております。

◎救急体制の現状について

Q 高齢化が進むにつれて、救急需要は、年々増加傾向にあると言われてはいますが、この救急需要に適切に対応するため、特に出動回数が多く広範囲に出動することが多い署や出張所に救急車の増車並びに救急隊の増員を行うことが必要ではないか。

A 議員ご指摘のとおり、今後の救急需要に適切に対応するため、各消防署所の救急出動の状況を注視し、必要な対策を検討してまいります。

下中野平井線進捗状況

・下中野平井線(旭川工区)河川部橋脚2基工事が完了



◎今後の工事予定(令和4年度)

- ・中区側平井地内市道付替工事
- ・北区側橋脚2基建設工事
- ・北区側西川橋梁工事

また一つ地域の声がかたちになりました

平井地区

車両の脱輪防止のためポールを設置。



操明地区

路面表示の追加や反射板の改良、さらに白線の位置調整を行い、引き直して危険箇所を改善。

